

「躍動する福井」へ

令和8年1月、石田高人福井県知事が誕生しました。
2月19日の定例記者会見で石田知事は、「令和8年度予算は『躍動する福井』をつくるための予算。全ての世代が互いに尊重し合い、県民自らがあらゆる挑戦に踏み出す。そうした動きが県内のあらゆるところで次々生まれ、県全体が躍動する、そんな福井にしていきたい」と語りました。
今回の特集では、令和8年度当初予算を中心に、石田知事が5つの質問に答えます。

Q1 にぎわいを生む 福井をどう実現するの？

経済界が中心となって進める福井アリーナ(仮称)整備については、国の交付金を活用し、県と福井市で支援を行います。多くの人を呼び込み県内各地を周遊してもらうことで、地域経済の好循環とにぎわいを県内全域に広がっていきます。また、嶺南地域に高級リゾートホテル等を誘致する若狭湾プレミアムリゾート構想を着実に進めていきます。



福井アリーナ(仮称)整備イメージ

Q2 こどもを育てやすい 福井をどう実現するの？

これまで以上に手厚く、切れ目のない子育て支援を進めます。例えば、校内サポートルーム支援員の配置拡充による不登校対策や放課後児童クラブの充実など、こども一人ひとりに寄り添った教育・子育てのサポートを行います。また、ひとり親家庭や医療的ケアが必要な障がい児者とそのご家族が、安心して生活できるような環境を整備します。



ふく育県イメージ

Q3 商い・ものづくり・暮らし が続く福井をどう実現するの？

物価高の影響を受けている事業者の皆さまを支えるため、プレミアム付き商品券を販売し県内の消費喚起を図るほか、中小企業の賃上げ支援を行います。また、若者や子育て世代が魅力を感じる、給与水準が高い企業の誘致にも力を入れます。さらに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護体制を充実させていきます。



県経済団体連合会へ賃上げ要請

Q4 農林漁業が輝く 福井をどう実現するの？

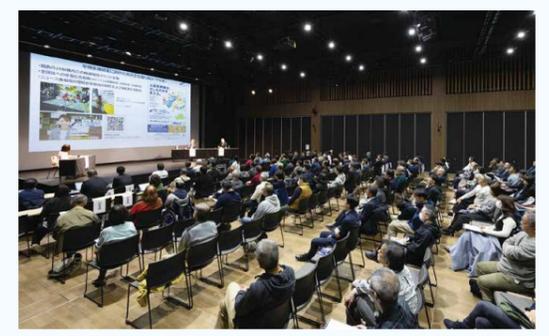
既存の人材育成施設である園芸・林業・水産の各カレッジに加え、新たに第二ふくい園芸カレッジ(仮称)の開校を進めるなど、担い手確保を図ります。また、稼げる農林水産業を展開するため、ほ場の大区画化などの基盤整備や作業の効率化・省力化につながるスマート技術導入の支援、農林水産物のブランド化・PRなどを強化していきます。



ドローンを用いた農業散布

Q5 北陸新幹線 全線開業をどう進めるの？

北陸新幹線の大坂までの全線開業は、沿線全体への大きな経済効果や東海道新幹線の代替補完機能を発揮する重要な国家プロジェクトです。小浜京都ルートによる全線開業のメリットを、沿線住民の方々に対し、利用者目線でわかりやすく発信します。また、全線開業が早期に実現するよう、県議会や経済界等と連携し、政府・与党に強く求めていきます。



北陸新幹線フォーラム(令和7年12月開催)

プロフィール

石田 高人 (いしだ たかと)
平成2年生まれ、36歳。福井市出身。
平成24年米國パシフィック大学卒業、関西外国語大学卒業、平成30年米國ジョージタウン大学修了(修士)、令和7年政策研究大学院大学修了(博士)。平成27年外務省入省、在サンピア日本国大使館三等書記、在メルボルン日本総領事館副領事、外務省経済局資源安全保障を歴任。
趣味は筋力トレーニング。座右の銘は、「我事において後悔をせず」。

